

緊急告知防災ラジオの購入費を補助します

閩危機管理室(市役所3階) ☎32-2042

市では、災害発生時の情報伝達手段として、旧津山市地域を対象に「緊急告知防災ラジオ」の普及を進めています。そのために、緊急告知防災ラジオを購入する世帯に補助を行います。

■緊急告知防災ラジオって何?

災害などの緊急時に、自動的に電源が入り、市からの緊急放送を伝えるラジオです。

■緊急放送で流れる情報

- 土砂災害警戒情報 ●特別警報
 - 避難準備情報・避難勧告・避難指示
 - 震度4以上の地震情報 など
- ※月1回、緊急放送の試験放送が流れます

■普段は、設定されたAM/FMラジオ局の放送が聴けます

(設定されているラジオ局)

- FMラジオ局** エフエムつやま、FM岡山、NHK-FM
- AMラジオ局** NHK岡山(第1・第2)、山陽放送



緊急告知防災ラジオ

■補助の内容

緊急告知防災ラジオは、補助金額を差し引いた価格で購入できます。

対象 旧市内に住所を有し、居住している人

補助数 1世帯につき1台

補助額 購入費の3分の2以内(上限6,000円)

申込方法 購入前に、危機管理室や各支所市民生活課、公民館などに備え付けの申請書(市ホームページから印刷可)に記入し、危機管理室に申し込む

※電波が受信しにくい場合は、外部アンテナの設置補助制度もあります。詳しくは、お問い合わせください

■販売は、エフエムつやまが行っています

予定販売価格(税込み) 9,250円

販売店

NPO法人つやまコミュニティFM(エフエムつやま)津山市南新座34番地アリオベール・しんぞ202号 ☎23-1350 ☎35-2299



働きやすい津山に
参加者 生活を充実させて、それを仕事に生かす「ワーク・ライフ・バランス」を、市や企業が進めることが大切だと思っています。仕事の能率を上げて残業時間をゼロにするなど、まず、市が行い、そのノウハウを企業に発信してほしいです。

津山に雇用の場を
参加者 人口減少が叫ばれる中、津山で働く人、若い世代を呼び戻すことが必要です。高校卒業

市長 津山市第5次総合計画では、今後の人口減少や少子高齢化などの課題に向けて、定住促進や子育て支援の充実などの対策を盛り込み、津山の活性化を目指したいと思っています。そのために、ワーク・ライフ・バランスや雇用対策など、今回の提案を参考に進めていきたいと思いをもちます。地域の資源を生かす、地域を盛り上げていくために、各分野の皆さんと連携を深めていきたいですね。

働きたい津山に
参加者 生活を充実させて、それを仕事に生かす「ワーク・ライフ・バランス」を、市や企業が進めることが大切だと思っています。仕事の能率を上げて残業時間をゼロにするなど、まず、市が行い、そのノウハウを企業に発信してほしいです。

市民が参画できる計画を
参加者 結婚を機に津山に来て、津山の自然や文化に魅力を感じています。建築家としての発想を生かし、県内外のまちづくりに参加していますが、まちづくりに参加しては、そこに住む人の参画が必要だと思っています。

市長 津山市第5次総合計画では、今後の人口減少や少子高齢化などの課題に向けて、定住促進や子育て支援の充実などの対策を盛り込み、津山の活性化を目指したいと思っています。そのために、ワーク・ライフ・バランスや雇用対策など、今回の提案を参考に進めていきたいと思いをもちます。地域の資源を生かす、地域を盛り上げていくために、各分野の皆さんと連携を深めていきたいですね。

第11回

とき 5月30日(金)

テーマ

津山の活性化に向けて

参加者

日笠 佳絵さん(上田邑)
和田 優輝さん(下高倉西)
丸尾 宜史さん(一方)

生率低下の原因の一つになっているといわれます。さらに、今は家族の介護のために仕事を辞めなければならない男性も増えるといわれています。どのような状況でも働ける環境の整備が望まれています。

後、津山を離れた人から「津山には仕事がない」という声を聞きます。それに反して、津山の経営者からは「人材が足りない」という声を耳にします。この雇用のギャップを埋めようと、津山で働きたい人に、市内の会社の事業内容や経営者の理念などを伝える求人情報を掲載したホームページを立ち上げました。

市民と市長のふれあいトークを開催しました

閩秘書広報室 ☎32・2029

住民自治協議会事業の取り組み地域が決定しました

閩協働推進室 ☎32-2032

住民自治協議会は、地域の各種団体などが連携し、地域のニーズや問題を解決するために設立され、活動しています。これまで「高齢者の見守り」や「特産品づくり」「地域内外の交流事業」など、地域の実情に合った事業が実施されています。今年度は次の地域の取り組みが決定しました。

住民自治協議会実施地域と主な取り組み

地域名	これまでの主な取り組み	新規/継続
阿波	エネルギーの地産地消を目的とした木の駅プロジェクト	継続
高倉	荒廃した里山を、子どもたちが自然の中で自由に遊ぶふれあいの森として整備	
高田	地域の特産品づくりの研究と住民ニーズや地域の課題を把握するためのアンケート調査など	

住民自治協議会は、小学校区または連合町内会の支部を単位として、55歳以上人口の割合が50%を超える集落や町内会を含む地域で設立できます



木の駅(阿波地区)



ふれあいの森(高倉地区)



特産品づくり(高田地区)

国民年金保険料の追納ができます

閩津山年金事務所(田町) ☎31-2360、保険年金課(市役所1階7番窓口) ☎32-2072

国民年金の保険料の免除や若年者納付猶予を受けた人は、全額納付の人と比べて、老齢基礎年金額が少なくなります。

免除や猶予を受けた期間の保険料は、過去10年以内であれば、後から納付(追納)することができます。

保険料の追納は、津山年金事務所または保険年金課、各支所市民生活課でお申し込みください。

※平成23年度以前の保険料には経過期間に応じた加算額が上乗せされています(右表の網掛け部分)

免除・猶予の承認を受けた保険料を平成26年度に追納する場合の金額

	全額免除	半額免除	4分の1免除	4分の3免除
平成16年度の月額	14,750円	7,370円	—	—
平成17年度の月額	14,790円	7,390円	—	—
平成18年度の月額	14,840円	7,420円	3,710円	11,130円
平成19年度の月額	14,880円	7,440円	3,710円	11,150円
平成20年度の月額	15,000円	7,500円	3,750円	11,250円
平成21年度の月額	15,070円	7,540円	3,760円	11,300円
平成22年度の月額	15,340円	7,670円	3,830円	11,500円
平成23年度の月額	15,130円	7,560円	3,780円	11,340円
平成24年度の月額	14,980円	7,490円	3,740円	11,230円
平成25年度の月額	15,040円	7,520円	3,760円	11,280円